

垣根の施工例(会員の活動例)

6/16 (1) 垣根の施工例 第一回目

今日は雨天で暇なので、小生の作品紹介の第一回目。
高の原のF邸。今までの庭門が老朽化。倒れそうなので新規に・・・相談の上、プラスチック製で枝折戸付四つ目垣で質素に・・・高さ1.2m、全幅約1.8m。工事時間(含む庭門撤去時間)約10時間。既設の柱の基礎は全てコンクリートでガチガチ。

削岩機?の持合せが無いので、ハンドで・・・大変でした。柱の側近、表面から20cmほどの所に排水のピットが2箇所。排水管の配列(深さ、方向)も、ピットから推測。危なかったのは、踏石の下を通して、庭門の両柱の側近に上水道の配管と屋外照明の電気配線のジャバラ管が・・・。コンクリートの基礎を取出した後、両スコで掘削中に発見。よくも基礎除去時に破らなかったものと、胸を撫で下ろす始末。掘削中、何か土以外の異物を感じたら、埋蔵文化財を探す気持ちで優しく。いつもの事ながら、埋蔵物の推測は難しい!!

ちなみに、小生は、コンクリート嫌い で・・・今回も付固めで柱を・・・



6/19 (2)

小生作品の第二回目。

奈良市松陽台のI邸。手前に階段状で高さ30～40cm・全幅約2m、中央に高さ60cm・全幅約6m、左手奥に高さ1.8m・全幅3.6mのプラ製御簾垣。施工時間25H。中央は、ツゲの生垣を撤去後、施工。右端近くのキャラボクの枝を貫通させる構成。手前はツゲの古株が埋蔵？されていたので、除去（3段中、1段はかなりな大株で、ブロック壁に遮られて角型に変形、ブロック破損の恐れがあったので、地際でカット）。階段状の場所は掘削可能深さが浅いので、柱の固定は仕方なくセメントで・・・他はすべての柱を付固めで施工。セメントの擁壁は、内側に傾斜面を持っているので柱位置に要注意。I邸の排水路や上水道管、電気配線の位置は比較的、推測容易に施工されていたので、助かりました。



7/4 (3)

久しぶりの投稿です。垣根施工シリーズの三回目。

専門校終了直後の施工です。ただし、自宅です。どんなものか一度、体験してみたい一心でチャレンジ。材料は自然竹使用。仕様は幅7200、高さ1800、竹材は故郷の竹林から切出し。自前搬送のため、交通費のみ。切出しから寸法出し、割り作業・・・。割り作業では、結構、大きな音がするので、何事かとお近所さんが・・・。結論は、とにかく大変でした。二度とできるものか・・・と。立子の幅が一定ではないので、見苦しいかも。それとも、手作りの雰囲気がある・・・。既成材料を使えば確かに、綺麗に仕上がりますが、価格が・・・。苦労したこの垣根も、5年後の台風であえなく、支柱が・・・。地際が痩せ細っていました。

現在は、同サイズで、プラ竹製の御簾垣に変更。工期3日。自然竹を使うより遥かに楽。費用は嵩みますが・・・。



7/7 (4)

垣根施工シリーズの四回目。今回の作業場は兵庫県の小野市。知人宅。3食付宿泊で。工期は10日間。

今回も前回味わった大変さを忘れ自然竹使用の建仁寺垣に挑戦。幅17000、高さ1200、両面仕様です。今回も故郷の竹林から・・・切出し、寸法出し、割りと・・・前回同様の作業繰り返しです。立子の下にはレンガを使って差石を置きました。

一皮捲れば碎石ゴロゴロの敷地。ともかく支柱の穴掘りが大変でした。現在は、内側に傾斜杭を入れて補強しています。風の通りがキツイ場所なので、台風の際など、結構、揺れていましたので・・・。施工後、8年が経過しましたが、頑張ってくれています。碎石のおかげで、地際の腐食進行が抑制されているようです。何が幸いするか解からないものです。竹材搬送中に、荷崩れが。あわや対向車を直撃でした。落下には至ら無かったので幸いでした。対向車は超ビックリ？。長材を載せる場合、ロープの掛け方に細心のご注意を・・・。

